

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 30 年 7 月 11 日

留学時所属 & 学年: 国際地域学部グローバルア
プローチ3年

留学先大学	東呉大学
留学先国	台湾
留学期間	半年
留学開始一終了日	2018年2月23日 - 2018年7月31日

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

国際地域学部では交換留学が必修ということもあり、入学した時から交換留学は視野に入れていた。外国で自分の知らない文化や慣習について長い期間を通して学ぶことができ、なおかつ留学先で受けた授業が福井大学の単位に変換できるというところに魅力を感じ、交換留学を希望した。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

2017年の10月くらいから、東呉大学から要求された提出書類の準備を始めた。それと並行しながらビザ取得のための申請準備。台湾は代行ビザ申請が可能なので、向こうの大学から留学許可書が届いたらすぐに申請ができるように余裕をもって準備することが大事。(他大学に比べて許可書の発行が遅かったのでギリギリにならないよう気を付けて)

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

もともと書道をやっていたことや、二年次に中国語を履修していたことから中国圏への留学に関心があった。地域研究や文化学について興味があったので、日本と地理的に近いながらも近隣諸国の文化を取り入れている台湾の実情を自分の目で見たいと思い台湾での留学を決定した。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

国際地域学部全体で受ける TOEFL を受験するために、一年後期の TOEFL 対策の授業を受講することに加え、文法参考書を使っての勉強やレーナー先生の TOEFL 対策講座に参加した。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。
(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の皆さんのサポートが手厚かった。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

先輩からの事前情報が一切ないので、どの授業で帰国後単位変換ができるのかがわからな
いまま出発したのが不安だった。自分の行きたい大学に行っていた先輩がいたらどんな授業
が福井大学のどの授業と単位交換できたのか聞くのもいいと思う。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

どちらかという所高校に近いような雰囲気。街中にあるというわけではなく山に面しているので
自然と触れ合える。(実際留学生向けに大学近くの登山のイベントに参加した。)

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学構内・寮内には学生用のフリーWi-Fi 完備。図書館と寮内に自習室。芝生の運動場とバ
スケコート、メインの棟の二階に体育館とランニングマシン、サイクリングマシンが設備され
ている。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく
教えてください。

参加したい部活が違うキャンパスにあつたり、現在活動していなかったりということで断念。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数/ 週	単位 数	クラス内 の人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
CN55601	GENDER STUDIES	謝静国	月 56	2	10	一人一度 PPT を使った生徒の授業、期末レポート
BNA02702	中国文化研究	李聖光	水 56	2	10	ソースブックに関する内容からレポート三枚
BJP31602	日本文化概論	彭思遠	木 34	2	30	中間にテスト、期末にレポート(自由度高)
BPO45001	GLOBAL PUBLIC POLICY	陳立剛	火 789	3	40	中間にレポート、期末に二度グループプレゼンとレポート
BNA07201	STUDENT MOBILITY: PERSPECTIVES OF INTERCULTURAL COMPETENCES	林容秀	木 78	2	15	レポート課題が何回か、期末にはグループプレゼンと個人レポート
BNA04202	初級華語 II	莊媛婷	月 34E. 金 34	5	10	章が終わるごとに小テスト、期末中間はテストと口頭試問

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

授業内で出来るだけ情報やテーマについての自分の考えを膨らませながら受講することを心掛けていた。私の受けた授業はディスカッションが多かったので自分の意見をすぐに人に伝えられるよう準備しながら授業を聞くことが求められた。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

期末のレポートが重なりすぎて終盤課題に追われることが予想できたので、逆に提出日が遅い課題から早期に仕上げることで全体の課題のペースアップと、なあなあに終わらせるのではなく提出前に見直す時間の拡張ができた。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

全体的にディスカッションが多い。そのため、授業前の予習(あらかじめ次の授業で取り上げる内容の確認と自国での事例についての情報獲得)をしなくてはならないと思われた。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

日本文化についての授業は取っておくべき授業だと思う。客観的な視点から日本文化を学ぶことができるのは、日本での授業では(日本人の先生が行う授業では)どうしても主観的な見方が入ってしまうのでとても貴重な機会だと思う。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(4)人部屋
寮・アパート名	楓雅樓(Chinese language center)
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他()
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 共用のリビングルームにテレビ、そしてキッチン・トイレ・シャワールーム・洗濯器・乾燥機が共用で使える。学内にある寮なのでコンビニは大学のファミリーマートが使える。

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学から歩いて10分のところに故宮博物院、歩いて30分(バスで10分)で士林駅・士林夜市・スーパーがあるので気軽に買い物に行くことができる。日本食レストランは台北市内にたくさんある。コンビニも多いので、ATMからお金をおろすことも容易。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

福井銀行のクレジットカードを作っていたが、基本的に台湾で使っていたのは楽天銀行のデビットカードを使用していた。大学近くのコンビニ ATM から現金引き出しをしていた。海外留学支援制度を利用して月6万円の奨学金＋出発前に楽天銀行に預けたお金を使用した。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

大体日本で買えるものは台湾でも買えると思う。しかしユニクロなどの日本ファッションブランドは高い。ドライヤーやヘアアイロンは日本で使っていた馴染みのあるものを持ってきた方がよい。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝台湾ドル(NTD))(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	101,160 円	食費	20,000NTD
保険代	67,120 円	家賃	20,000NTD
予防接種・ビザ代	41,060 円	教科書代	1,200NTD
交際費(外食等)	5,000NTD	その他	1,000NTD

合計: 大体 40 万円ほど

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

特に気を付けることはないと感じたが、台湾人の服装はカジュアルなのであまりおしゃれな服をたくさん持っていく必要はない。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

私は一回も行かなかったので詳細には書けないが、大学の医務室は英語も通じるらしいとのこと。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

しなかった。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

英語での健康診断を受ける必要があり、私は麻疹の抗体が低かったので追加で予防接種を受けた。日本から持参した常備薬はない。台湾のドラッグストアには日本のメーカーの薬も置いてあるので、虫除けスプレー・虫刺され薬などはその都度購入できる。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

この留学の目的は、国際社会と文化学について学ぶということだった。国際社会については Global Public Policy と Student Mobility の授業で、文化学については中国文化研究と日本文化概論の授業を履修することができた。前者二科目では、国際社会における問題についての討論や、国家間での人の流動による影響について学び、今後の自分の卒業研究にも生かせるような知識を得ることが出来た。また、自分の興味のある学問である日本と台湾(中国)の伝統や文化についても客観的な見方から改めて学ぶことが出来たことも、自分の目標が達成できた点だと感じた。

台湾での交換留学は、英語圏のアメリカやイギリスなどとは違い、現地の人々の殆どが中国語を話す。つまり、台湾で生活していくためには中国語を使って他者とコミュニケーションをとることが求められる。一年第二外国語として中国語を勉強してきたとはいえ、やはり難しい単語が聞き取れなかったり、とっさの場合に上手く言葉が出てこなかったりしたことがあった。ただ、台湾の場合日本語で使われている漢字と似ている繁体字を使用しているため、何が書かれているかについては理解することが比較的容易だった。ただ、日本で中国語を勉強していた時と同じように、声調記号の違いによって自分の伝えたい単語が伝わらないこともあり、「もっと勉強しなければならないなあ」と感じることも度々あった。バディスチューデントは日本語学部の学生

ではあるが、SNS での会話は出来るだけ中国語で話せるように気を使うなど、自分のやれる範囲で中国語を使おうと努力した。

台湾と日本では、同じ東アジア圏内ということもあり生活様式や文化の違いに大きな差が見られると感じたことは少ないが、それでも若者のファッションや考え方に異なる点を感じたことは度々あった。特に、台湾に暮らす人々のファッションは日本に比べてカジュアルで、女性もあまり化粧をしないという点や、寮に暮らす台湾の学生は毎週実家に帰ることから家族を非常に大切にするという点を、身をもって理解し、そこに日本と台湾の考え方の違いがあると感じた。

そういった、目には見えにくい考え方の違いは、短期間で人と接するだけではわかりにくく、交換留学のような中・長期留学を通して感じるものなのではないだろうか。近隣の国である台湾でも、日本に暮らしている間では見られなかったスタイルや台湾人と交流する上で得た新しい考えなどを受容できた良い経験だったと思う。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

留学中にもっと中国語の勉強をしたかったのだが、やはり半年の留学ということで時間が足りないと感じることが多かった。夏季休暇や後期の時間を利用してより中国語について学びたいと思わされた。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

今後は、英語と中国語の検定を受けるために両言語の勉強をすること、また自分の卒業研究を進めるためにいくつか文献を読むなど知識のアップデートを並行して行う。就職活動のためにインターンシップに参加するなど情報収集を行う。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

もしあなたが、特定の分野について学びたいというよりはいろんな学問から広く学びたいと考えている場合、東呉大学は良い選択だと思います。なぜなら、この大学の交換留学生は一つの学部にも所属してその学部内だけの授業を受けるのではなく、交換留学枠としてほぼ全ての授業を受けることができるからです。語学、文化学、歴史、法学、(別キャンパスになりますが)ビジネス等に関心がある方は、この大学を視野に入れてみてはいかがでしょうか。加えて、この大学は台湾有数の日本語学部が有名です。もしあなたが日本文化や日本語学を学びたいと考えていたら、この大学の留学を検討してみてください。日本語学部の教授が時々ご飯を食べに連れて行ってくれるなど、アットホームな雰囲気を感じられます。

東呉大学は、バスで 10 分のところに MRT 士林駅があり、そこから一本で台北メインステーションまで行くことができます。また、士林夜市や故宮博物院など観光スポットや歴史的な建物などへのアクセスがとても良いです。台北は東京に比べて人口が少ない上に都心の暮らしができるので、便利かつゆとりのある生活が送れるのではないのでしょうか。

月例報告書でも、受講した授業の内容や、学内留学生向けイベントなど、学生向けの情報

をいくつか紹介しています。ぜひ参考にしてください。

東呉大学は比較的交換留学生に自由な大学だと思います。自然に囲まれた穏やかな場所
であなたの学びが実りあるようなものになることを願っています。祝你一路順風！